

聞えのバリアフリー・シンポジウム

人工内耳・補聴器と音楽とコトバ



～ 聴脳、言葉、音楽 ～

音によるコミュニケーションには様々な要素があります。
声の高さの変化、音量、スピード、声質など文字によっては
伝いきれない情報があります。
それらの要素が人の認知システムに与える影響について
考えてみませんか。
会話を表現豊かに楽しむこと、そんな可能性を感じさせてくれる
聴覚リハビリテーションについての講演会を開催します。

日 時： 2012年2月5日(日) 午後 1:00～5:00 (受付開始 12:30～)

会場案内： 東京大学 先端科学技術研究センター
3号館南大ホール(ENEOSホール)
(〒153-8904 東京都目黒区駒場4丁目6番1号 地図は裏面)

参加費： 無料 (情報保障あり。託児予定)
お問い合わせ先：講演会事務局 (mocomo28@m6.dion.ne.jp)

主催： 特定非営利活動法人 人工聴覚情報学会
(〒142-0064 東京都品川区旗の台5丁目17番地9号)

共催： 東京大学 先端科学技術研究センター
バリアフリー分野 福島智研究室／大沼直紀研究室

後援： (社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
人工内耳友の会[ACITA](予定)
関東教育オーディオロジー研究協議会
聴覚障害児と共に歩む・トライアングル
(社)補聴器販売店協会

協賛： 株式会社日本コクレア

プログラム (予定)

1. 主催者挨拶： 真野 守之(特定非営利活動法人 人工聴覚情報学会)
2. 基調講演：「音楽と言語と脳」
中田 隆行 (公立はこだて未来大学 准教授)
3. シンポジウム(司会:大沼 直紀)
中田 隆行(研究者)、丸尾 直子(ピアニスト)、
大嶋直子(日本聾話学校)、洗足学園音楽大学音楽感受研究室、
4. 総括講演：「聴覚補償と音楽保障」
大沼 直紀 (東京大学 先端科学技術研究センター 客員教授)

アクセス

小田急線／東京メトロ千代田線・代々木上原駅より徒歩12分
小田急線・東北沢駅から徒歩7分
京王井の頭線・駒場東大前駅西口から徒歩10分
京王井の頭線・池ノ上駅から徒歩10分

